

小浜島で確認された蜘蛛形類、唇脚類および倍脚類について

千木良 芳 範*・田 中 聡**

Brief Notes on Arachnids, Centipedes and Millipedes in Kohamajima Island, the Yaeyama Islands

Yoshinori CHIGIRA* and Satoshi TANAKA**

はじめに

八重山諸島の真正クモ類（クモ目）については、大井(1963)、八木沼(1964)、下謝名(1967, 1970)らが報告しているが、いずれも石垣島や西表島に関するものである。八重山諸島の他の島々についても、わずかに大利・樋山(1976)が与那国島について、千木良・宮城(1981)が波照間島と与那国島について報告しているだけである。また、Shimojana (1977)や下謝名(1980)は、小浜島の洞穴に生息するクモ類について報告している。最近になって、谷川・佐々木(1999)が沖縄県の真正クモ類について総合的な見直しを行っている。これは、沖縄県内での採集・観察記録、分類学的研究、ならびに沖縄県をフィールドとした生態学的研究の中に記載されているクモ類の分布記録を修正し、まとめたものである。これには採集地も、島ごとに整理されているので、小浜島のクモ類についても拾い出すことができる。

一方、小浜島のサソリ・サソリモドキ類や多足類についてはほとんどわかっていない。これらの動物は飛翔によって島間を移動できない上、すみ場所も森林内のものが多い。そのため、特定の島の動物相を特徴づける要素とみなすことができる。

筆者らは2001年2月（千木良）と2002年9月、2003年7月（田中）に小浜島を訪れ、蜘蛛形類や多

足類の目撃観察あるいは採集に努めた。他の調査と並行して実施したこともあり、きわめて不十分な調査結果ではあるものの、ほとんど情報のない小浜島の蜘蛛形類や多足類について記録にとどめておくことは意味のないことではないと思われるため、ここに報告しておきたい。

なお、本報の証拠標本は沖縄県立博物館に保管されている。

調査方法

自動車で島内を散策しながら、緑地の残っている地域を適当に選んで調査ポイントとした。主な調査ポイントは、嘉保根御嶽、西山御嶽、仲山御嶽、ユンドレスク付近の林、はいむるぶし近くのキャンプ場、はいむるぶし裏の海岸林、石長田地区のマングローブ林、アカヤ崎の海岸林、大岳などである。それぞれの調査ポイントで、林内を1～2時間ランダムに歩き回り、目撃したクモを採集あるいは記録した。なお、嘉保根御嶽、仲山御嶽、西山御嶽、ユンドレスク付近の林及び大岳は夜間調査も実施した。

結果とまとめ

今回の調査では8科13属16種のクモ類を採集、目

※ 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県教育庁文化課

※※ 〒903-0823 沖縄県那覇市首里大町1-1 沖縄県立博物館

* Culture Division, Education Department, Okinawa Prefectural Government, 1-2-2, Izumizaki, Naha, Okinawa 900-8570, Japan

** Okinawa Prefectural Museum, 1-1, Onaka-cho, Shuri, Naha, Okinawa 903-0823, Japan

撃することができた。谷川・佐々木 (1999) はそれまでの報告を整理し、小浜島から13科28属34種のクモ類を報告している。今回の調査で確認された16種のうち、ヤエヤマジョウゴグモ、リュウキュウヒメグモ、ミナミノアカイトウロウグモ、オオジョロウグモ、ハタケグモの一種及びアシダカグモの6種は、今回初めて小浜島から記録された種である。特にハタケグモの一種については、正確な種名の同定にはもう少し精査が必要であるものの、これまで沖縄県内でハタケグモ類が記録されたことはなく、本県から初めての記録となる。

今回の調査結果を含めて、小浜島のクモ類相について整理すると、小浜島からは15科32属42種が記録されたことになる。谷川・佐々木 (1999) によると、西表島からは32科103属186種が記録されているが、小浜島のクモ類はハタケグモの一種を除いて、すべて西表島との共通種である。今回の調査は、かなり粗い調査であったことから、もう少し詳細な調査を行えば、小浜島のクモ類の数は増加すると思われる。

サソリ・サソリモドキ類としては2種が確認された。ヤエヤマサソリはまだ腐植の進んでいない落枝や倒れた木の幹の樹皮の下で確認された。タイワンサソリモドキやトビズムカデは、夜間林内で活動している個体や昼間、転石や遺棄されたビニールシー

トなどの下に潜んでいるのが観察された。注意したが、今回はオオゲジ *Thereuopoda clunifera* を確認することはできなかった。ヤエヤママルヤスデは、昼間木の幹にとまっていた。ヤットコアマビコヤスデは、林内の落葉下にいた。

小浜島のクモ類は、ハタケグモの一種を除いて、ほとんどが西表島にも分布する種で構成されている。これらの種のほとんどは、バルーニングと呼ばれる空中分散を行う種である。こうしたことから、小浜島のクモ類相は西表島をメインランドとし、西表島から移動してきた種で成り立っていると思われる。しかしながら、ヤエヤマジョウゴグモやカンムリグモ、ジャバラグモはバルーニングを行わないと考えられることから、サソリ・サソリモドキ類や多足類などと同様に、西表島と陸続きの時代に渡ってきて、その後、西表島から分断された小浜島でも生き残ってきたのであろう。このような分散能力の低い種を中心にした、両島の種類相の詳細な比較検討は、小浜島の地史等を解明する手がかりを与えるかもしれない。小浜島は、大部分が牧草地や耕作地として開かれた場所が多いため、大岳、御嶽、海岸などに散在した形で残っている広葉樹林は、きわめて貴重な場所であることを強く指摘しておきたい。

小浜島で確認された蜘蛛形類・唇脚類・倍脚類リスト

筆者らが確認した種に加えて、クモ目については谷川・佐々木 (1999) の記録を含めた。学名の後ろの () 内の数字 (引用文献に付した番号) により出典を示した。※印は今回著者らによって確認されたものである。

蜘蛛形 (クモ) 綱 Arachnida

クモ目 Araneae

ジョウゴグモ科 Hexathelidae

1. ヤエヤマジョウゴグモ *Macrothele yaginumai* Shimojana & Haupt 1998 (※)

エンコウグモ科 Ochyroceratidae

2. カンムリグモ *Speocera laureata* Komatsu 1974 (5, 6)

ユウレイグモ科 Pholcidae

3. ユウレイグモモドキ *Smeringopus pallidus* (Blackwall 1858) (6, 7)

ジャバラグモ科 Tetrablemmidae

4. ジャバラグモ *Ablemma shimojanai* (Komatsu 1968) (5, 6)

ウズグモ科 Uroboridae

5. マツガエウズグモ *Philoponella prominens* (Bosenberg & Strand 1906) (7)

ヒメグモ科 Theridiidae

6. リュウキュウヒメグモ *Achaearanea ryukyu* Yoshida 2000 (※)
 7. アシブトヒメグモ *Anelosimus crassipes* (Bosenberg & Strand 1906) (7)
 8. コアシブトヒメグモ *Anelosimus exiguus* Yoshida 1986 (7)
 9. シロカネイソウロウグモ *Argyrodes bonadea* (Karsch 1881) (7)
 10. ミナミノアカイソウロウグモ *Argyrodes flavescens* O. Pickard-Cambridge 1880 (※)
 11. アシナガヒメグモ *Chrysso spiniventris* (O. P.-Cambridge 1869) (7)
 12. サヤヒメグモ *Coleosoma blandum* O. P.-Cambridge 1882 (7)

ヨリメグモ科 Anapidae

13. ヨリメグモ *Conculus lyugadinus* Komatsu 1940 (6)

アシナガグモ科 Tetragnathidae

14. チュウガタシロカネグモ *Leucauge blanda* (L. Koch 1878) (※, 7)
 15. オオジョロウグモ *Nephila pilipes* (Fabricius 1793) (※)
 16. ヒカリアシナガグモ *Tetragnatha nitens* (Audouin 1827) (7)

コガネグモ科 Araneidae

17. オニグモ *Araneus ventricosus* (L. Koch 1878) (※, 7)
 18. コガタコガネグモ *Argiope minuta* Karsch 1879 (7)
 19. ミナミノシマゴミグモ *Cyclosa confusa* Bosenberg & Strand 1906 (※, 7)
 20. トゲゴミグモ *Cyclosa mulmeinensis* (Thorell 1887) (※, 7)
 21. シロオビトリノフンダマシ *Cyrtarachne nagasakiensis* Strand 1918 (7)
 22. ハラビロスズミグモ *Cyrtophora unicolor* (Doleschall 1857) (7)
 23. チブサトゲグモ *Gasteracantha mammosa* C. Koch 1844 (※, 7)
 24. コゲチャオニグモ *Neoscona punctigera* (Doleschall 1857) (7)
 25. ヤマシロオニグモ *Neoscona scylla* (Karsch 1879) (※, 7)
 26. ヘリジロオニグモ *Neoscona subpullata* (Bosenberg & Strand 1906) (7)
 27. ホシスジオニグモ *Neoscona theisi* (Walckenaer 1841) (7)
 28. ゲホウグモ *Polys illepidus* C. Koch 1843 (※, 7)

コモリグモ科 Lycosidae

29. ナガズキンコモリグモ *Trochosa aquatica* Tanaka 1985 (7)
 30. コモリグモ科の一種 Lycosidae sp. (※)

ササグモ科 Oxyopidae

31. シマササグモ *Oxyopes macilentus* L. Koch 1878 (7)

32. ササグモ *Oxyopes sertatus* L. Koch 1878 (7)
- ハタケグモ科 Hahniidae
33. ハタケグモの一種 *Neoantistea* sp. (※)
- アシダカグモ科 Heteropodidae
34. アシダカグモ *Heteropoda venatoria* (Linnaeus 1758) (※)
35. コアシダカグモ *Heteropoda* sp. (※)
- カニグモ科 Thomisidae
36. ハナグモ *Misumenops tricuspidatus* (Fabricius 1775) (7)
37. ホシズナワカバグモ *Oxytate hoshizuna* Ono 1978 (7)
38. シロスジグモ *Runcinia albostrata* Bosenberg & Strand 1906 (7)
39. コキハダカニグモ *Takachioa trunciformis* (Bosenberg & Strand 1906) (7)
40. カラカニグモ *Xysticus ephippiatus* Simon 1880 (7)
- ハエトリグモ科 Salticidae
41. アダンソンハエトリ *Hasarius adansoni* (Audouin 1827) (※, 7)
42. ヤハズハエトリ *Mendoza elongata* (Karsch 1879) (7)
- サソリ目 Scorpionida
- コガネサソリ科 Scorpionidae
- ヤエヤマサソリ *Liocheles australasiae* (Fabricius, 1775) (※)
- サソリモドキ目 THELYPHONIDA
- サソリモドキ科 Thelyphonidae
- タイワンサソリモドキ *Typopeltis crucifer* Kraepelin, 1899 (※)
- 唇脚 (ムカデ) 綱 Chilopoda
- オオムカデ目 Scolopendromorpha
- オオムカデ科 Scolopendridae
- トビズムカデ *Scolopendra subspnipes mutilans* L. Koch, 1878 (※)
- 倍脚 (ヤスデ) 綱 Diplopoda
- マルヤスデ目 Spirobolida
- マルヤスデ科 Spirobolidae
- ヤエヤママルヤスデ *Spirobolus* sp. (※)
- オビヤスデ目 Polydesmida
- ババヤスデ科 Xystodesmidae
- ヤットコアマビコヤスデ *Riukiaria chelifera* (Takakuwa, 1941) (※)

謝 辞

本報をまとめるにあたり、多足類について有益な助言をいただいた安座間安史・下謝名松栄の両氏にあつくお礼申し上げる。

引用文献

1. 大井良次. 1963. 沖縄本島・西表島のクモ. *Atypus* (29) : 15-17.
2. 大井昌久・樋山御理男. 1976. 先島諸島（八重山群島・宮古群島）の真正蜘蛛類とその生息域. *Atypus* (66) : 15-23.
3. 下謝名松栄. 1967. 琉球列島のクモ相について. 沖縄生物学会誌 4 : 16-25.
4. 下謝名松栄. 1970. 動物の地理分布をどう指導したらよいか. 沖生教研会誌 (4) : 38-68.
5. 下謝名松栄. 1980. 先島（宮古諸島・八重山諸島）の洞窟動物. 沖縄県洞窟実態調査報告Ⅲ, 沖縄県教育委員会.
6. Shimojana, M. 1977. Preliminary report on the cave spider fauna of the Ryukyu Archipelago. *Acta arachnol.* 27 (spec. no.) : 337-365.
7. 谷川明男・佐々木健志. 1999. 沖縄県産クモ類目録. *Kishidaia* 76 : 61-101.
8. 八木沼健夫. 1964. 南西諸島のクモ. 関西自然文化研究会研究報告第1集, pp. 39-50.

写真 今回の調査で確認された蜘蛛形類・唇脚類・倍脚類



写真1 ヤエヤマジョウゴグモ(1)



写真2 地中につくられたヤエヤマジョウゴグモ



写真3 樹洞につくられたヤエヤマジョウゴグモの巣

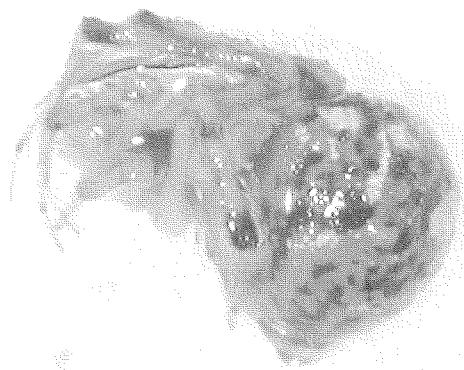


写真4 リュウキュウヒメグモ

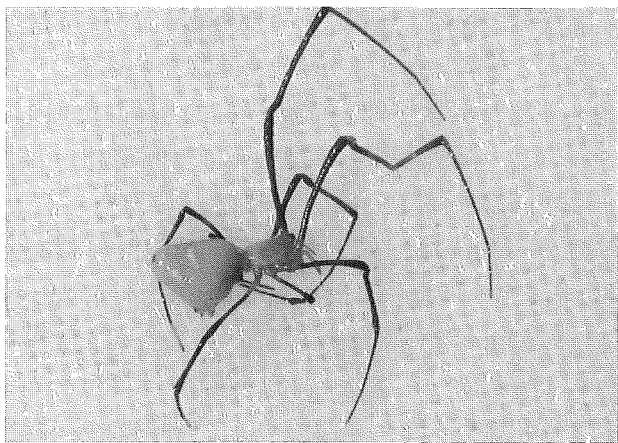


写真5 ミナミノアカイソウロウグモ

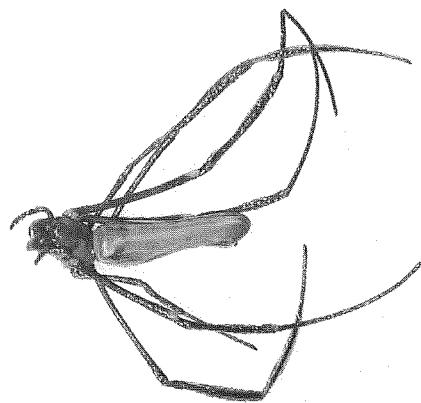


写真6 オオジョロウグモ



写真7 ミナミノシマゴミグモ

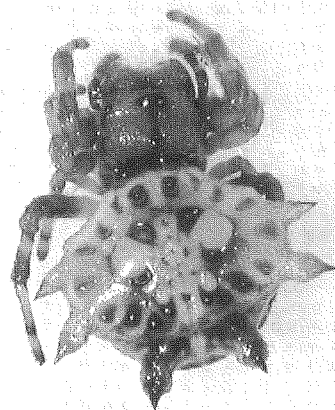


写真8 チブサトゲグモ

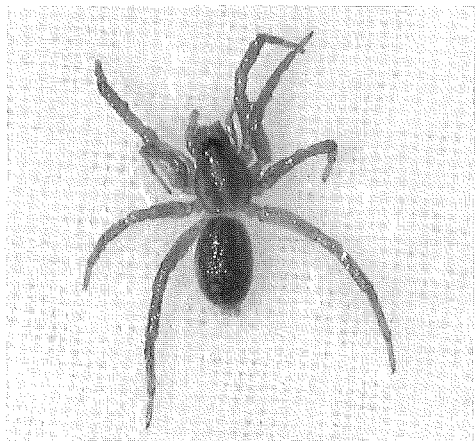


写真9 コモリグモ科の一種



写真10 ハタケグモ科の一種

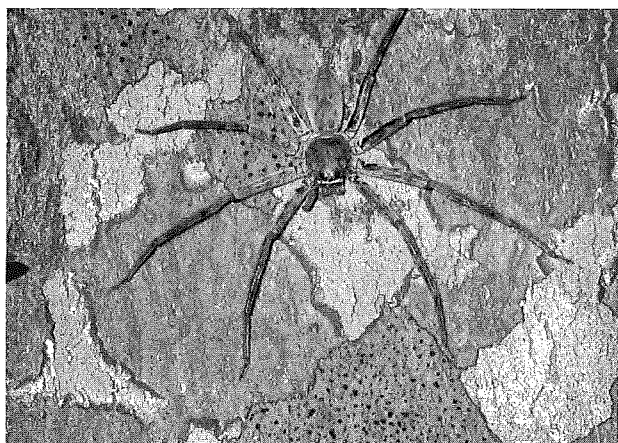


写真11 アシダカグモ

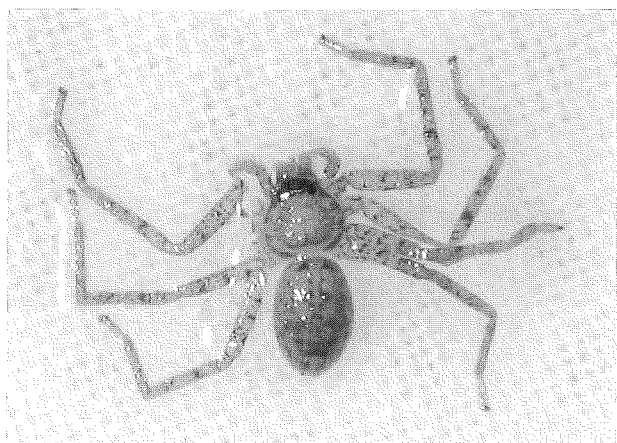


写真12 アシダカグモの幼生

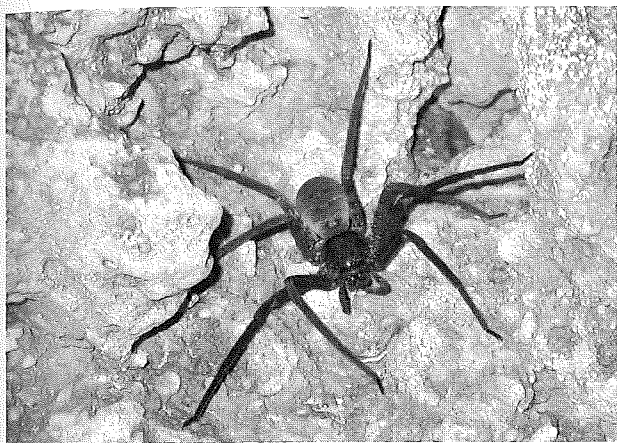


写真13 コアシダカグモ

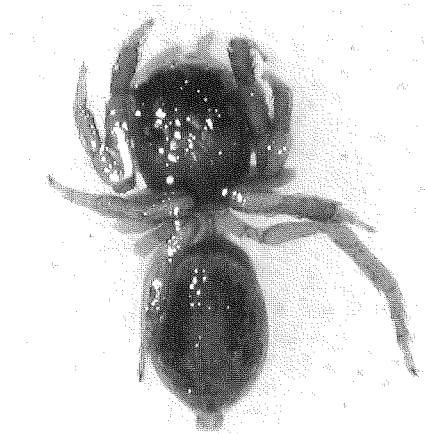


写真14 アダンソンハエトリ

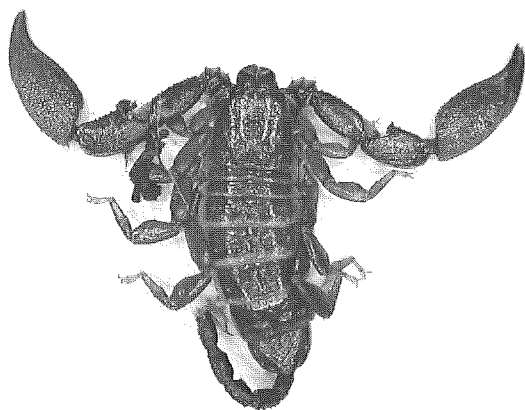


写真15 ヤエヤマサソリ



写真16 ヤエヤマサソリが確認された倒木



写真17 タイワンサソリモドキ

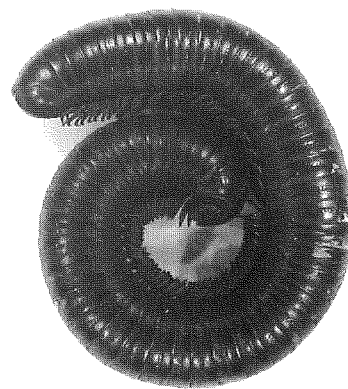


写真18 ヤエヤママルヤスデ

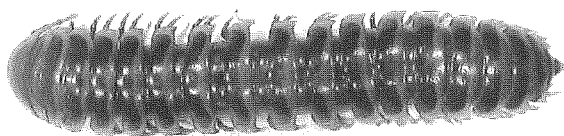


写真19 ヤットコアマビコヤスデ

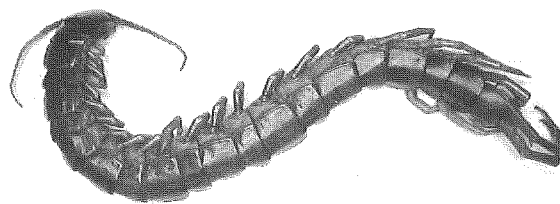


写真20 トビズムカデ